



「自律・自走し考動する 80 期生」

■風を嘆くか、帆を調整するか。

後期スタートに際して、今日はこの言葉からはじめます。

The pessimist complains about the wind, the optimist expects it to change, the realist adjusts the sails.

— William Arthur Ward

悲観的な人間は風が出てきたと嘆き、楽観的な人間は止むのを待つ。しかし、現実的な人間は帆を調整するのだ。

—ウィリアム・アーサー・ウォード

米ルイジアナ州出身牧師・教育者

この言葉は、私たちが自分の力で行動を起こすことの大切さを教えてくれます。環境や運命、流れに身を委ねるのではなく、自らの手で未来を切り拓く姿勢こそが、キャリアを築く第一歩です。Ward 氏の言葉をもう一つ。

The great teacher inspires.

偉大な教師は、心に火をつける。

「学校と自宅の往復だけでなく、挑戦しよう！世界を上げよう！」と皆さんに呼びかけた以上、私自身もチャレンジしようと、今夏、いくつかの「はじめて」を体験しました。そのうち、GLHS 合同研修である、東京・栗田工業研究所や福島・国際 STEAM ワークショップへの参加を通して、理系分野の最前線に立つ方々の話を伺い、彼らの仕事観や人生の決断の瞬間に触れることができました。自分自身の人生をふりかえる機会となり、同時に、80 期生の皆さんがこれから進む道についても深く思いを巡らせる時間となりました。

16 日進路 LHR では、先生方が進路選択のきっかけや大学・学問についてなど、キャリアに関するお話を語ってくださる企画を予定しています。

知るということは、遠いものを引き寄せる、「自分ごと」にできる第一歩です。

もちろん、こうした研修、行事に限らず、日常の活動を、「やらなあかんこと」という義務に留めるのは非常にもったいないことです。私たちはあらゆる経験から学ぶことができます。他者から影響を受ける経験を通して、他者が自分の心に火をつけてくれるのではなく、それは自分自身の選択によるもの。すべては、自分の可能性を試し、世界を拓げるための「帆」なのです。

たとえ小さな挑戦であっても、その一歩から、見える景色は確実に変わってきます。生活習慣を改善してみる。模試でできなかったところを振り返るなど「学び」に関すること、あるいはちょっと勇気を出してチームのまとめ役に立候補してみる——。

風が吹いたと嘆いて終わりですか？風が止むまで待ちますか？「0 か 100 か」で判断すると思惑停止に陥りがちになります。何か挑戦できるものに出会ったとき、道の岐路に立ったとき、どうすれば自分らしく進めるかを考えてみてください。そして、決めたのであれば、進みましょう。あなたの未来は、あなた自身の手で形づくるものです。

■ 当面の予定 手帳にメモしよう！

- 6 日(月) 国際交流：タイからの学校歓迎
- 8 日(水) (希望者) 医療系説明会 (本校にて)
- 9 日(木) 文理本選択説明会
- 11 日(土) 学校見学会
- 14 日(火) 見学会代休
- 16 日(木) プチベーシックテスト③
進路 LHR 「担副に聴く」
前期成績個票配付
- 18 日(土) 大阪サイエンスデイ (天王寺高校)
- 19 日(日) (希望者) 駿台実戦模試 (上本町校)
- 23 日(木) 学問・学部探究、受験科目調べ
- 30 日(木) 後期役員選挙